

第4回 「秩父山地緑の回廊」等における樹木保護ネット設置

平成23年8月7日(日)埼玉県の西部、山梨県との県境に位置する笠取山(標高1,953m)の周辺で、シカ等の野生動物による樹皮の食害から樹木を守るため、樹木に保護ネットを設置する取り組みをNPO法人 秩父の環境を守る会と共催で実施しました。



当日は、朝5時30分に秩父市役所を出発し、8時30分から登山を開始、約2時間で笠取小屋へ到着、開会式後、設置場所の笠取山へ移動し、作業を開始しました。



下山しました。途中大降りになることはありませんでしたが、登山口近くの沢は既に濁り水で増水していました。あらためて山の天気の変り易さを感じました。

作業開始からしばらくすると、それまでの晴天は一転、ゴロゴロと雷が聞こえ鳴り出しました。参加者の方からは、「もう少し取り付けしたい。」との声もありましたが、落雷の危険を感じたため、作業を中止し、笠取小屋まで下山し、昼食を取りました。

食事中に雨が降り出したため、早々に下山の準備をしてバスの駐めてある作場平(さくばたいら)まで約1時間10分で



作場平の駐車場では雨もほとんど止んでおり、閉会式を行い、埼玉県環境部の方から「埼玉県におけるニホンジカの被害状況等」のお話しをしていただきました。

今回は、一般の女性参加者も含め総勢23名で、159本の樹木に保護ネットを設置しました。また、環境省、地元秩父市などからもご協力いただき全員ケガもなく無事終了することができました。参加して頂いた方々にお礼申し上げます。

今後も、このような緑の回廊や荒川源流部等の保全の取り組みを、一般の方の協力をいただきながら、地元NPO関係機関と連携して実施していきたいと思いません。興味のある方はご協力をお願いします。



ニホンジカの状況説明



今年もよろしく！



自己紹介



登山前の準備体操（作場平）



開会式（笠取小屋）



ネット取付けの説明



ネットの運搬



ネットへのタグ付け



ネットの運搬



3人で力を合わせて



ネット取付作業



ネット取付作業



笠取小屋



熊被害を受けた看板



マルバダケブキ



ムシカリ